

新潟工科大学大学院工学研究科学位論文審査基準

新潟工科大学大学院工学研究科は、学位論文について、大学院のディプロマ・ポリシーに基づき、以下の基準により大学院の学位論文として相応であるかについて総合的に評価する。

【博士後期課程の学位論文に係る評価事項】

博士論文の審査にあたっては、以下の点を判断基準として評価を行うものとする。

- 1) 研究内容
 - ・研究内容は、当該分野において解決すべき課題を含み、学術的な新規性、独創性を持っているか。
- 2) 研究の背景と意義及び研究動向の調査分析
 - ・文献調査や学会での情報収集などを適切に行い、本研究の意義や重要性を明確にしているか。
 - ・研究成果が原著論文（査読有り）として公表されたか。
- 3) 研究計画及び方法
 - ・研究計画は進行に応じて、修正を適宜加えられたか。
- 4) 研究結果
 - ・研究結果が明確に示され、解析及び考察が適切になされているか。
 - ・新たな知見を得ることができたか。
- 5) 論文としての体裁
 - ・論文の書式及び内容が、博士の学位論文として相応しいものであるか。
- 6) 論文発表能力
 - ・発表会で研究内容を分かりやすくプレゼンテーションし、質疑に適切に対応できたか。

【博士前期課程（修士課程）の学位論文に係る評価事項】

修士論文の審査にあたっては、以下の点を判断基準として評価を行うものとする。

- 1) 研究内容
 - ・研究内容は、当該分野において解決すべき課題を含み、新規性、独創性又は有用性のいずれかを持っているか。
- 2) 研究の背景と意義及び研究動向の調査分析
 - ・文献調査や学会での情報収集などを適切に行い本研究の意義や重要性を理解しているか。
- 3) 研究計画及び方法
 - ・研究計画は進行に応じて、修正を適宜加えられたか。
- 4) 研究結果
 - ・研究結果が明確に示され、解析及び考察が適切になされているか。
 - ・新たな知見を得ること、又はそれらを感じることもできたか。
- 5) 論文としての体裁
 - ・論文の書式及び内容が、修士の学位論文として相応しいものであるか。
- 6) 論文発表能力
 - ・発表会で研究内容を分かりやすくプレゼンテーションし、質疑に適切に対応できたか。

【博士前期課程（修士課程）の学位設計に係る評価事項】

学位審査の対象となる研究の成果物としての設計図書（設計図及び設計に至るまでの成果を記載した図書）の審査にあたっては、以下の点を判断基準として評価を行うものとする。

1) 設計内容

- ・設計テーマは、専攻した専門分野と照らして適当であるか。
- ・設計内容に独自なものを取り入れており、創作性が感じられるか。

2) 設計の意図及び関連事項の調査分析

- ・これまでの研究からなる背景、それに関連した本設計の意図が明示されているか。
- ・文献調査や実地調査による先行研究・事例の調査分析が適切であり、それが本設計に反映されているか。

3) 設計の方法及び表現力

- ・設計の方法が適切であり、明確かつ具体的に記述されているか。
- ・設計意図が論理的かつ説得力を持って表現されているか。

4) 研究の成果物としての体裁

- ・設計内容が、修士の学位を授与するに相応しいものであるか。

5) 内容発表能力

- ・発表会で設計内容を分かりやすくプレゼンテーションし、質疑に適切に対応できたか。